



めあてに向かって走り続ける

校長 石田 和義

上記の横断幕は、日々のくらしづくりのスローガンとして、くらしづくり委員会を中心に、全校の子どもたちが案を出し合い、作成したものです。（横断幕は体育館西側壁面に設置してあります）

子どもたちがスローガンに込めた思いは二つです。一つは、校歌にあるように、“丈夫なからだをつくるという目当てに向かって、毎朝体力づくりを続ける”ということです。もう一つは、体力つく

目当てに向かって朝トレに取り組む子ども

りだけでなく、“自分のやりたいことに進んで取り組むなど、自分の目当てに向かって粘り強く努力し続ける”ということです。背景のデザインには、“目当てに向かって走り続けることで、一人ひとりが光り輝く”という子どもたちの願いが込められています。子どもたちの目当てを紹介します。

多くの朝トレの目当ては、毎日5本走ることです。ぼくは、走るのが好きです。どうしてかという、仲間と競走することが好きだからです。（1年生児童）

ぼくは、3年生の時から運動会のリレー選手になりたいくて、朝トレをがんばってきました。そして、今年、初めてリレー選手になって、がんばったうれしさがあります。運動会まで今までの2倍練習して、本番に弱い自分に勝ちたいと思っています。（4年生児童）

私は今、毎日朝トレで5本以上走ると決めて一人で走っています。嫌になる時もあるけど、走り切った達成感と逃げずに走った自分が好きだから毎日走ることを続けてがんばっています。運動会では、今までのがんばりを発揮して、一点でも多く点数をとりたいです。（5年生児童）

学校では、子どもたちが“自分の目当てに向かって進んで取り組むこと”とともに、“仲間と互いの取組を振り返ること”を大切にしています。丁寧に振り返りを行うことで、苦しみながらも、あきらめずに取り組む自分のよさに気付いたり、仲間に認められることで、目当てに向かって最後までがんばることの大切さを実感できたりすることが期待できるからです。

互いの取組を振り返る子ども

17日（土）に運動会を実施します。今年の運動会のスローガンは、「一人ひとりが目当てをもち 仲間とともに高め合い 全力でやりとげよう」です。現在、子どもたちは、目当てを実現しようと一生懸命に体力づくりや団活動に取り組んでいます。

保護者、地域の皆様には、子どもたちに、運動会に向けてどんなことにがんばってきたのか、そして運動会当日、どんな目当てをも

って臨もうとしているのか、聞いていただきたいと思います。そして、運動会当日、自分の目当てに向かってあきらめずにがんばり続ける子どもたちを心から応援していただくとともに、大いに認め、褒めてあげてほしいと思います。よろしくお願いいたします。

団活動に取り組む子ども

10月の行事予定



- 1日(木) 小中連携挨拶運動①
堀川チャレンジ活動
- 5日(月) 運動会全体練習①
- 7日(水) 小中連携挨拶運動②
- 8日(木) 運動会全体練習② 運動会係委員会活動
- 12日(月) ☆ スポーツの日
- 13日(火) 運動会予行練習
- 14日(水) 科学博物館利用学習(4年)
- 15日(木) 堀川チャレンジ活動
- 17日(土) 運動会
- 19日(月) 振替休業日
- 22日(木) 委員会活動
- 28日(水) 就学時健康診断
- 29日(木) 児童集会 堀川チャレンジ活動
- 30日(金) 堀小ふれあいフェスティバル前日準備
- 31日(土) 堀小ふれあいフェスティバル



※状況によっては、変更する場合があります。

11月の行事予定



- 2日(月) 集金振替日
い者体験学習(5年)
- 3日(火) ☆ 文化の日
- 4日(水) 集団宿泊学習こどもの村(5年)
【～6日(金)】
- 5日(木) 小学校教育課程研究会(県東部)
(給食なし)
- 9日(月) 富山市小教研 15:00
教育相談日① 午後短縮
- 10日(火) 教育相談日② 午後短縮
- 11日(水) 教育相談日③ 午後短縮
- 12日(木) 出前講座(4・5・6年)
委員会活動
教育相談日④ 午後短縮
- 14日(土) 資源回収
- 16日(月) 富山市チャレンジ陸上記録会(6年)
- 17日(火) 避難訓練 安全点検
- 19日(木) 堀川チャレンジ活動
- 20日(金) 学習参観 親学び講座
全国学力学習状況調査結果説明会(6年)
- 23日(月) ☆ 勤労感謝の日
- 26日(木) 心臓検診(1年)



敬老会に向けて取り組む2年生

2年1組 澤井 匠

2年生は、9月18日に行われた「堀川校下敬老の会」で歌とダンスを発表しました。毎年この敬老の会への参加は、2年生の子どもたちにとって成長する大事な機会と捉えています。

「堀川校下敬老の会」に向けた練習は、「敬老」という言葉の意味や、地域の方々がどのような思いでこの会を心待ちにされているかを考えることから始まりました。そして、「日頃の感謝の気持ちを伝えたい」「心から楽しんでほしい」という相手を思いやる気持ちを仲間と共有した子どもたちは、受け取る方の笑顔を思い浮かべながら、一文字一文字に集中し、心を込めて招待状を書き上げました。

当日のステージ発表では、生活科で育てた野菜を取り入れた「やさいのうた」の手遊びと、子どもたちの明るく元気な様子が発揮できる「あおいそらにえをかこう」の合唱を発表することにしました。子どもたちは、発表に向けてよりよい表現を求めて何度も仲間と話し合いを重ねました。さらに、堀川校区の地域の方から歌唱指導とピアノ伴奏をしていただいたことで、表現はより豊かになり、発表に向けた気もちを高めていきました。

2学期に入り練習を重ねていく中で、初めはばらばらだった歌声が次第に一つになっていきました。そんな中、Aさんは「敬老の会の練習がとっても楽しい!」と話し、全身でいきいきと歌う喜びを表現するようになっていきました。心を込めて表現する楽しさを知ったAさんの前向きで直向きな姿は、周囲の仲間たちにも波及していきました。同じように体を動かし、想いを重ねる仲間が増えていくことで、学年全体の歌声は力強く、伸びやかなものへと成長していきました。Aさんは自身の歌の上達や高まりはもちろんのこと、自分の行動が仲間を動かした体験を通じ、自信を深めることができました。

敬老の会当日、子どもたちは満面の笑みで舞台に立ち、伴奏に合わせて体を揺らしながら、心を届けるようにパフォーマンスを披露しました。会場の地域の方々からは温かい拍手が送られ、子どもたちの感謝と情熱の詰まった想いはしっかりと届きました。

本番を終えたAさんは、「緊張したー!練習してきたおかげでしっかりできた!」と語り、「学校楽しかった!」と満足感に満ちた表情で下校しました。相手に喜んでもらいたいという純粋で深い想いを胸に、努力を重ねることが、自分自身と相手の双方に大きな感動と達成感をもたらすのだという大切な学びを、子どもたちはこの体験を通して胸に刻むことができました。

